

パナマ市郊外ラス・クンブレ地区における邦人強盗被害の発生について

平成29年1月13日
在パナマ日本国大使館

9日（月）午後2時ころ、パナマ市郊外のラス・クンブレ地区（注：下記地図の赤枠内）において、在留邦人の方が強盗被害に遭いました。

犯人は12歳～15歳くらいの子供3人で、拳銃及びナイフを所持していました。

国内には6万丁以上の不法な銃器が出回っていると言われ、小学生くらいの児童による、拳銃強盗も発生しております。

在留邦人の皆様におかれましては、当地において拳銃強盗が頻繁に発生している現状を認識いただき、外出先は警察官や警備員等により安全の確保された場所を選ぶなど、安全対策に十分配慮してください。（了）

